

# 会報

夏

No.158

2012.7

社団法人北海道電業協会



目 次

市有建築物の防災機能の強化と環境負荷低減への取組を推進します .....札幌市都市局建築部 設備担当部長 芝 富士夫...	1
(社)北海道電業協会第46回通常総会 (一社)日本電設工業協会北海道支部第56回通常総会 .....	2
電業協会・電設協道支部合同懇親会.....	3
通常総会ご挨拶 (社)北海道電業協会 会長 (一社)日本電設工業協会北海道支部 支部長 .....	4
(社)北海道電業協会スローガン.....	5
(社)北海道電業協会役員 (一社)日本電設工業協会北海道支部役員 .....	6
代表者変更ご挨拶 .....東光電気工事(株)北海道支社 執行役員支社長 坪 田 雅 幸...	7
.....(株)クリハラント北海道支社 支社長 酒 井 光 三...	7
平成24年度 技術・安全衛生基礎教育講習会.....	8
平成24年度1級(学科)電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会...	9
平成24年度 安全大会.....	10
現場からこんにちは.....	11
ーシリーズー 1/212だより ・エネルギーのふるさと～泊村～ .....泊村長 牧 野 浩 臣...	12～13
・日本一が3つあるまち～ほろかない～ .....幌加内町長 守 田 秀 生...	14～15
厚生委員会行事報告 ゴルフ部会.....	16
ーシリーズー「私のいちおし」 (株)ドウデン 代表取締役社長 小笠原 憲 生.....	17
ーシリーズー「ビジネスマンはこれを読め！」 (株)久住書房 社長 久 住 邦 晴.....	18
「お知らせ」 平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会.....	19
顧問会.....	20
業界だより、理事会・三役会・委員会報告.....	20～23
事務局日誌.....	24
編集後記	



# 市有建築物の防災機能の強化と 環境負荷低減への取組を推進します

札幌市都市局建築部

設備担当部長 芝 富士夫

北海道電業協会の皆様には、日頃より札幌市の建築行政に対しまして、多大なるご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年発生した東日本大震災とそれに伴う原発事故は、さまざまな教訓を残しましたが、大規模な災害時において、市民の生命や財産を守るために大切なことは、地域で安全に安心して暮らすことのできる社会基盤を維持し続けることであるという認識を深めました。

また、原発停止による電力不足に対処するために、夏の最大電力使用時期に向けて、市民や事業者の皆さんが、効果的な節電を実施することが望まれております。

都市局では、局の実践的な取り組み指針であります「都市局実施プラン」を策定しておりますが、今年度の運営方針の一つとして「災害に強いまちづくりと環境負荷低減に関する取り組みの推進」を掲げています。

災害に強いまちづくりに関する具体的な取り組みとしては、災害時には緊急避難場所となる市有建築物の耐震化の推進を実施するとともに、冬期における防災対策の一つとして、学校体育館の高断熱化の実証実験をおこないます。

また、環境負荷低減に関する取り組みとしては、平成22年度より実施している「住宅エコリ

フォーム補助制度」の拡充に加え、平成24年度より札幌市独自の高断熱・高気密住宅基準の「札幌版次世代住宅基準」の普及促進に向けた取り組みや、市有建築物への太陽光発電設備など再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入を進めるとともに、環境負荷低減効果を実感できるよう、施設の改築・改修に併せて、エネルギー使用量の「見える化」を実施し、施設管理者の設備運転の最適化をサポートする「エコチューニング」を実施するなど、節電・省エネ支援にも継続して取り組んでまいります。

都市局といたしましても、これまでに培った技術を活かしながら、市民の皆さんと手を携え、共に考えながら、災害に強いまちづくりや、環境負荷低減などの諸課題に取り組んでまいります。

もとより、これらの実現には、市民や企業の皆様方のご理解と連携が不可欠でございます。協会の皆様方には、これまでも札幌市発展の一翼を担って頂いているところですが、今後とも良きパートナーとして一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

社団法人 北海道電業協会 第46回通常総会  
 一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 第56回通常総会



平成24年5月10日(木)午後3時30分よりホテルニューオータニイン札幌において、電業協会第46回・電設協道支部第56回通常総会を開催、会員代表者のほか営業責任者等が出席した。総会に先立ち「協会功労者表彰」を行い、吉川会長から表彰状と記念品が授与された。

○表彰者

- ・拓北電業(株)  
代表取締役社長 鈴木 暁彦 様
- ・東邦電気工業(株) 北海道支店  
営業グループマネージャー 和田 隆幸 様
- ・(株)北弘電社 内線事業本部  
内線営業部課長 内川 勝哉 様



開会にあたり吉川会長・支部長から当業界の経営環境及び協会運営についての挨拶（4ページ参照）があり、「新年度も厳しい経営環境を乗り越えるため、会員相互の信頼と結束で課題克服に努めたいこう」と呼びかけた。引き続き議長として議事の運営に入り、最初に議事録署名人に関場憲明氏（安達電設(株)）と遠藤則夫氏（住友電設(株)北海道支店）を指名し議案の審議を行った。

- 第1号議案 平成23年度会務・事業承認について
- 第2号議案 平成23年度収支決算承認について  
会計監査報告
- 第3号議案 平成24年度事業計画（案）承認について
- 第4号議案 平成24年度収支予算（案）承認について
- 第5号議案 会費規定運用細則改正（案）の承認について
- 第6号議案 平成24年度スローガン（案）の採択について

当協会運営及び事業実施の基本として、諸課題の克服と将来の業界の地位向上を掲げ、スローガ

ン（5ページ掲載）が提案された。

第7号議案 役員の一部改選について

別紙（6ページ掲載）のとおり、承認された。

第8号議案 一般社団法人への移行方針（案）の承認について

以上をもって、北海道電業協会の通常総会を終了した。

引き続き、電設協道支部総会が開催され、支部代表者が出席した。

吉川支部長が議長となり議事を運営し、議案の審議を行った。

第1号議案 平成23年度会務・事業承認について

第2号議案 平成23年度収支決算承認について  
会計監査報告

第3号議案 平成24年度事業計画（案）承認について

第4号議案 平成24年度収支予算（案）承認について

第5号議案 役員の一部改選について

電業協会役員と一体化のため、別紙（6ページ掲載）のとおり承認された。

以上をもって、電設協道支部の通常総会を終了した。

## 電業協会・電設協道支部合同懇親会



内野井 営繕部長



赤繁 企画調整官



須田 建築局長



阿部 都市局長

両通常総会に引き続き、同ホテルにおいて合同の懇親会が行われた。

吉川会長・支部長の開会挨拶に続いて、ご来賓の祝辞を北海道開発局営繕部長内野井宗哉様、北海道産業保安監督部企画調整官赤繁博規様、北海道建設部建築局長の須田敏則様よりお言葉をいただきました。

つづいて、札幌市都市局長 阿部宏司様のご発声で開会となった。

また、ご来賓として、北海道経済産業局、北海道、札幌市、(社)北海道建築士会、北海道設備設計事務所協会、北海道電気資材卸業協同組合、北海道電力(株)、(社)北海道電気協会、北海道電気工業業工業組合、札幌電気工業協同組合、一般社団法人札幌電設業協会など、官庁、業界団体の多数の方々のご出席をいただき、会員の皆さんと終始和やかな懇親が行われ、池田薫（-社）北海道空調衛生工事業協会会長の中締めでお開きとなった。



# 平成24年度電業協会第46回通常総会並びに 電設協道支部第56回通常総会開会挨拶

平成24年 5月10日  
ニューオータニイン札幌

社団法人北海道電業協会 会長  
一般社団法人日本電設工業協会北海道支部 支部長

吉川 照一

北海道電業協会第46回通常総会、並びに日本電設工業協会北海道支部第56回通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、時節柄たいへんお忙しい中、本日の総会に多数ご出席をいただき、心より厚く御礼を申し上げます。また、日頃より当協会の事業活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

只今、協会功績者表彰が執り行われましたが、受賞された方々には、長年に亘り協会の事業に多大なるご尽力をいただき、心から感謝を申し上げますとともに、今後ますますご活躍されますようお祈り申し上げます。

景気や業界の現状については、後ほどの懇親会で触れさせていただきますので、ここでは、本総会の議題に関して特徴的なものについて述べさせていただきます。

第5号議案で、会費規程運用細則の改訂について提案いたします。会費につきましては、新法人移行前後の協会財産の有効活用と、近年の経済状況から会員の当面の負担軽減を図ることを目的に、現在、特例措置として年会費の90%減額を実

施しておりますが、「一般社団法人への移行」後は、段階的に応分のご負担をお願いしたいと考えており、後ほどお諮りいたします。

第6号議案で、24年度のスローガンとして、会場前方に掲げてあります四項目を、採択いただきたいと存じます。

今年度は役員改選期ではありませんが、7号議案で、各社の異動等による役員の一部改選についてご承認をお願いいたします。

昨年の総会でご承認をいただきました、一般社団法人への移行につきましては、総務委員会を中心に検討を行ってまいりました。別冊資料の8号議案で、移行申請に係わる具体的事項や従来との変更点等をご説明いたしますので、ご審議をお願いいたします。

電設協北海道支部の総会については、特別なことはございませんが、本日は二つの総会を併せて開催いたしますので、効率的な進行にご協力くださるようよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、通常総会の開催にあたっての挨拶といたします。

本日はよろしくお祈りいたします。

## 社団法人 北海道電業協会スローガン

### 1. 電気設備工事業界の将来を担う優秀な人材を確保するとともに、技術・技能の継承を促進し、将来に繋がる人材を育成しよう

少子高齢化の進展に加え、熟練技術・技能者の定年退職と若者の技術者離れが深刻である。電気設備工事業界が今後とも健全に発展していくためには、将来を担う優秀な人材の継続的な確保・育成が不可欠であり、さらには技術・技能の的確な継承を行なっていかなければならない。

若者が入社から退職に至る職業生涯を通じて夢と生きがいをもって活躍できるよう、ものづくりの楽しさやチャレンジできる風土の構築、継続能力開発（CPD）等に積極的に取り組み、自ら進んでこの業界への入社を希望するような「魅力ある職場」作りに努めるとともに、様々な機会を通じて電設業界をPRしていくことが必要である。

### 2. 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう

電気設備工事業界は、受注競争の激化により収益率が低水準にある中、コストを無視したダンピング的安値受注が見受けられ、結果として資本力の強い者が弱い者の事業活動を困難とし、最終的には顧客の利益を害する可能性が高い。

また、電気設備工事は建築業者の工程管理に大きく左右され、工程遅れの「しわ寄せ」が工期終盤に大きくのしかかっている。特に需要設備の使用前検査の規制緩和に伴い、受電時の完成度のチェックが不十分になり、無理な工程によるコストアップや品質管理・安全面への影響が大きな問題となっている。

適正な利益を確保しつつ、品質の高い電気設備を提供するためには、適正な価格・適正な工期での受注を確保し、健全で公正な競争市場の構築をしていく必要がある。

### 3. 地球環境保全を推進し、安心・安全な社会を実現するため、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用積極的に取り組もう

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、電力不足に対する懸念が全国的に広がり、電力の安定供給確保の重要性が再認識された。また、中長期的に低炭素社会の実現を目指す取り組みを進める中で、固定価格買取制度の導入を柱とした「再生可能エネルギー特別措置法」が成立したことにより、再生可能エネルギーの普及は今後さらに加速するものと思われる。当協会としては「省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」の分野において高度な技術と品質で積極的に貢献していくことが重要であり、これら新分野は将来に向けて大きな成長が見込まれることから、電気設備工事業界としても積極的な取り組みが必要である。

### 4. 品質と価格の透明性を確保するとともに、対話を通じて顧客満足度の高いサービスを提供するため、分離発注を強力的に推進しよう

顧客との直接対話を通じて、電気設備工事の品質の確保、技術革新への対応やライフサイクルコストの低減に的確に対応でき、更には、品質とコストの関係が透明かつ明確で顧客に対し満足度の高いサービスを提供できる「分離発注」こそ、顧客の投資した資金を有効に活かすことができる最も合理的な発注方式である。

分離発注が社会全体の大きな流れとなるよう、当協会と地区電業協会が連携し、従来にも増して強力な運動を展開する必要がある。また、総合評価方式の改善や低入札防止対策の強化をはじめとする入札契約制度の改善について、関係機関への働きかけを強化する必要がある。

社団法人 北海道電業協会 役員

(平成24年5月10日現在)

(新任)	会長	吉川 照一	北海電気工事(株)	(総務・広報各委員会担当)	
	副会長	中野 章	(株)北弘電社		(経営・厚生各委員会担当)
	〃	山口 勉	(株)山口電気機械工務所		
	〃	樋口 雄一	(株)関電工	(技術安全委員会担当)	
	専務理事	小川 孝樹	(社)北海道電業協会	総務委員長 経営委員長 広報委員長 技術安全委員長 厚生委員長	
	理事	加藤 勝利	協信電気工業(株)		
	〃	鈴木 暁彦	拓北電業(株)		
	〃	橋本 耕二	橋本電気工事(株)		
	〃	岡竹 俊和	(株)きんでん		
	〃	萩本 哲夫	三共電気工業(株)		
	〃	坪田 雅幸	東光電気工事(株)		
	〃	金子 康郎	日本電設工業(株)		
	〃	小笠原 憲生	(株)ドウデン		
	〃	西山 陽一	上川電業協会		
監事	早坂 稔	浅海電気(株)			
〃	嶋津 博	島津電設(株)			
〃	伊東 新一	(税)松永会計札幌事務所			

一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員 (平成24年5月10日現在)

(新任)	支部長	吉川 照一	北海電気工事(株)	(理事)
	副支部長	中野 章	(株)北弘電社	(〃)
	〃	山口 勉	(株)山口電気機械工務所	(〃)
	常議員	加藤 勝利	協信電気工業(株)	(諮問委員)
	〃	岡竹 俊和	(株)きんでん	(〃)
	〃	坪田 雅幸	東光電気工事(株)	(〃)
	〃	鈴木 暁彦	拓北電業(株)	(〃)
	〃	金子 康郎	日本電設工業(株)	(〃)
	〃	小笠原 憲生	(株)ドウデン	(〃)
	〃	樋口 雄一	(株)関電工	(〃)
	〃	橋本 耕二	橋本電気工事(株)	(〃)
	〃	萩本 哲夫	三共電気工業(株)	(〃)
	〃	早坂 稔	浅海電気(株)	
	監事	嶋津 博	島津電設(株)	
〃	早坂 稔	浅海電気(株)		
〃	嶋津 博	島津電設(株)		
〃	伊東 新一	(税)松永会計札幌事務所		

## 代表者変更ご挨拶



東光電気工事(株)北海道支社  
執行役員支社長

### 坪田 雅幸

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度4月1日付けで前北海道支社長清水秀二の後任として就任いたしました坪田雅幸でございます。平素より当協会ならびに会員の皆様にはいつも大変お世話になっており心より厚くお礼申し上げます。

若輩者ではありますが皆様のご指導ご鞭撻を頂き、業界及び協会の発展に尽くす所存でございますので、前任者同様宜しくお願いいたします。

私は生まれも育ちも札幌市で生粋の道産子です。昨年6年間の本社での単身赴任の勤務を終え

て北海道に戻ってまいりました。

弊社の北海道での仕事は、昭和14年頃に北海道人造石油株式会社の関連工事を皮切りに戦前戦後を通じ、道内における電気設備業のパイオニア的位置づけで存在感を示しながら、頑張ってきました。最近では、送電線工事の減少や建物の新築案件の減少の中、風力発電や太陽光発電といった再生可能エネルギーの分野にも積極的に取り組んでおります。

現在、北海道の経済状況は非常に厳しい状況にありますが、受注請負業において原点に立ち返り『良心的な電気工事』のスローガンのもと、顧客重視の視点で仕事に取り組み、お客様に満足していただけるよう対応していきたいと考えております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。



(株)クリハラント北海道支社  
支社長

### 酒井 光三

会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、前理事北海道支社長 瓜生道夫の後任といたしまして4月1日付で、北海道支社長に就任いたしました酒井光三でございます。平素は、当協会ならびに会員の皆様に大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。今後は皆様のご指導、ご鞭撻をいただきながら協会および業界の発展に微力ながら最善を尽くす所存でございますので、前任者同様どうぞよろしくお願い申し上げます。

この機会をお借りしまして当社の紹介をさせていただきます。当社は昭和21年に創立。関西電力の火力発電所における電気・計装分野の工事、メンテナンスからスタートしました。以来、エネルギー産業に着目し、全国の火力発電所・原子力発

電所など電力プラントの設計・施工から試運転、メンテナンスまで一貫して行える体制を構築してきました。

近年では太陽光発電所の電気設備工事など数多くの新エネルギー計画にも実験段階から参画している企業です。

さて、昨年発生しました東日本大震災から1年以上が経過し、復旧・復興の兆しが見えてきているとはいえ、日本経済の回復には程遠いといった感があります。道内においても景気は横ばいで推移しているとの見方もありますが、原子力発電所の全号機停止等により、今夏の電力供給は厳しい状況となっており、北海道でも一昨年の需要実績から7%以上の節電協力が求められているところであります。景気回復、経済成長のためにも安定した電力供給は不可避だと思います。そういう日が一日も早く訪れることを期待しています。

最後になりますが、当協会の益々のご発展並びに会員皆様のご清栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

# 平成24年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



この講習会は、新人や入社数年の若手社員への教育を目的に平成4年度から毎年実施されている。今回は13社から19名が受講。(一社)日本電設業協会が編さんした新人教育用テキストを用い4月10日(火)～13日(金)の4日間、北海道電気会館において電気設備技術者の基礎となる講習会を実施した。

開会挨拶では、当協会の小川専務理事から、「皆さんは、これから現場第一線で活躍することになり、どんな境遇にあっても強い責任感と使命感を持ってとり組んで欲しい」と求めた。

さらに「今、お客さまが求めているのは高品質で安心・安全な電気設備であり、その基本となるのが、技術・技能と一人ひとりの安全意識と行動力です。そのためにも、これからの4日間しっかりと学んで欲しい」と激励された。

講習会では、当協会の技術安全委員が講師となり、電気設備技術者としての役割や設計・積算の基本、電気工事の施工など技術と安全に関する知識を教えた。受講生は経験豊富な講師陣の講義に真剣に耳を傾け取り組んでいた。

最終日には全員に修了証を小川専務理事から授与され「いち早く技術力を身に付け、企業の繁栄・発展に努力されるとともに、それぞれの職場で活躍される事を期待しています」と閉講の挨拶があり終了した。

終了後に回収された受講レポートには、「講師の方々の体験談などをまじえた講義は参考になった」「今後もいろいろな勉強会・講習会に参加したい」など、たくさんの感想が寄せられていた。

## 【講習内容と講師紹介】

主な講習内容	講	師
電気設備概論	東光電気工事(株) 内線部長 菊池 洋氏	
電気と安全、 労働災害防止	北海電気工事(株) 安全品質部課長 岡和田 久治氏	
受変電設備 材料と工具 発電設備等	北海電気工事(株) 電設工事部長代理 今野 正章氏	
設計と積算 照明設備	(株)きんでん 部長 武田 幸男氏	
配線工事の基本	末廣屋電機(株) 工事部長 太田 英男氏	
監視制御設備 情報通信設備	(株)北弘電社 担当部長 内山 優氏	
防災設備 雷保護システム	三共電気工業(株) 工務部長 澤田 博史氏	

## 平成24年度1級（学科）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成24年4月24日(火)～25日(水)の2日間、セントラル札幌北ビル6階大ホールにおいて、(一社)日本電設工事業協会北海道支部と財団法人地域開発研究所との共催で、1級（学科）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会を実施した。講習会のオリエンテーションではまず1級電気工事施工管理技士について「建築業法で定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者、主任技術者となる資格要件」であり、本検定試験の資格取得は、本人は勿論のこと企業にとっても極めて重要な資格となることを説明。

講師は、それぞれの分野で活躍されている経験

豊富なベテランぞろいで、出題科目の範囲や出題傾向など適切なアドバイスを行った。

今年の受講者は57名で、6月10日の試験本番に向けて真剣に耳を傾けていた。学科試験の合格発表は7月20日で、合格者は10月21日の実地試験に臨み、来年2月1日の合格発表で晴れて1級電気工事施工管理技士となる。

今年度も全国の受験者数は2万人程度が見込まれているが、平成23年度の1級（学科）における合格率は全国平均42.5%で受験生にとっては厳しい狭き門と言える。

### 【講習プログラム・講師一覧】

	日		程	教 科 目	講 師 名	
第1日目	4/24(火)	午前	9:25～12:25 (3H)	電 気 工 学	田 中 英 一 様	北海道大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻
		午後	13:15～18:15 (5H)	施設電気設備 施 工 管 理	峯 西 一 樹 様	大成建設株式会社 札幌支店 建築部設備室
第2日目	4/25(水)	午前	9:00～12:20 (3H20M)	法 規	浅 香 健 治 様	(元)大栄電気株式会社
		午後	13:10～18:00 (4H50M)	構内電気設備	北 川 裕 章 様	大成建設株式会社 日本赤十字社北海道血液センター建設工事作業所

## 平成24年度 安全大会



平成24年度安全大会は、一般社団法人札幌電設業協会と共催で6月19日(火)午後1時30分より北海道電気会館において開催された。

本年も6月1日(金)～30日(土)までを準備期間、7月1日(日)～7日(土)を全国安全週間（スローガン：ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害）として実施される。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場監理技術者まで180名が参加した。

開会の挨拶で当協会の小川専務理事から「我々の業界を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあるが、いかなる環境にあっても安全が第一。安心して働ける環境づくりを労使一体となって確実に進めてほしい」と参加者全員に安全意識の高揚を訴

えた。

安全講話では札幌市都市局の日當電気設備課長から、市内の工事事故事例や安全パトロールで見聞きした事例の紹介があり、同様のことがないように指導された。

交通安全講話では北海道警察本部の屋代課長補佐から、交通安全のポイントなどを、具体的な事例を交えて講話をいただいた。

閉会の挨拶で、(社)札幌電設業協会の小林安全衛生委員長から、ハインリッヒの法則を引き合いに「一切のヒヤリハットを起こさないという気持ちで作業に臨んで、経営者と現場が一体となって、安全体制の確立に努めて欲しい」と力強く呼びかけた。



安全講話 日當 雅博 様  
(札幌市都市局建築部電気設備課長)



交通安全講話 屋代 芳彦 様  
(北海道警察本部交通部交通企画課課長補佐)

# 現場からこんにちは



工事名称：仮称 札幌市カーリング場新築電気設備工事  
工事場所：札幌市豊平区月寒東1条8丁目287-11ほか  
工期：平成23年10月18日～平成24年8月31日  
発注者：札幌市  
施工業者：島津・北電力 特定共同企業体  
工事規模：新築工事 鉄筋コンクリート造  
一部鉄骨造 地上2階  
敷地面積 5,218.68㎡  
延べ面積 3,375.12㎡  
カーリングシート（5シート）  
観客席（固定席：208席 車いす用16席）

設計監理：株式会社テクノクルー

## 《 工事概要 》

- ・受変電設備（屋外キュービクル式 設備容量950kVA）
- ・幹線設備・動力設備・電灯設備・自動火災報知設備
- ・拡声設備・テレビ共聴設備・構内幹線設備
- ・インターホン設備・電気時計設備
- ・ロードヒーティング設備・屋外照明設備・補聴設備
- ・発電設備（非常用 20kVA）

本工事は、カーリングを札幌の新たなウィンタースポーツとして定着させ、将来的には札幌からオリンピック選手を輩出できるよう、カーリングの普及振興に積極的に取組み、競技人口の拡大やカーリングを観戦する文化の定着を目的としています。

公共工事としては全国で初めて通年型のカーリング専用施設であり、地下鉄駅に隣接した都市型の施設として平成24年9月の開館を目指し、建設中です。

施設内容としては、カーリングシートを5シート、観客席を固定席208席と車いす席16席のほか多目的室やカフェ等を備えています。

施設の特徴としては、下記の項目について環境に配慮した施設となっています。

- ・外断熱を採用しています。（安定した温熱環境の確保と施設の長寿命化）

- ・カーリングホール内照明は、信頼性と省エネ性を考慮し、セラメタHバンクライトを使用し、従来型の水銀灯に比べ50%の省エネと1.5倍の長寿化を図っています。
  - ・LED照明を共用スペースで使用し省エネを図っています。
  - ・太陽光発電設備を導入しています。（発電容量33kW）
  - ・冷暖房空調設備として地中熱ヒートポンプを導入しています。
  - ・化石燃料を使わない環境にやさしいペレットストーブを設置します。
- 現場の安全についてですが、仮設用地が狭く、周辺は集合住宅や商店が多数有るので、資材の搬入や揚重時の重機の設置場所の検討および打合せ等の協議を行い、施工を進めています。また、現場周辺の道路は車両はもちろん、歩行者も多数通行しているので、現場への搬入や作業員の出入りの際は、ゲートでの一時停止等、十分に注意しています。

建物内部は、体育館等ホール特有の高天井になっていて、高所作業が多数あるので、高所からの墜落・転落等が無い様に、足場の点検の励行と安全帯の完全使用等に気をつけております。

今回現場にお邪魔したのは5月の中でしたが、4月末現在での進捗状況は、一部の躯体工事を残して各所で配線・ケーブルラック取付及び各種機器取付準備を行っており、5月の下旬には大型機器（屋外キュービクル・非常用発電機）を搬入・据付予定で、6月下旬に受電の予定で、受電後、7月下旬までにカーリングホール内の製氷作業を着手する予定だそうです。

最後にお二人より、「安全には十分に注意をし、品質の高い施工を心掛けたい」との力強い言葉を頂きました。

8月の竣工を迎えるにあたり、笑顔の中にも緊張感が見られ、これからの最盛期に向けての意気込みが感じられる取材でした。

大変お忙しい中、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

取材 広報委員 和田 隆幸、藤井 貴史



左 現場代理人 廣田 哲也さん（島津電設株）

右 主任技術者 及川 淳二さん（北電力設備工事株）



## エネルギーのふるさと～泊村～

泊村長 牧野 浩 臣



泊村は、北海道の西部、積丹(しゃこたん)半島の南西に位置し、日本海と山々に囲まれた美しい景観を誇り、この自然が織り成す四季折々の移り変わりは、訪れる多くの人々を魅了しています。

泊村は、かつて北海道最古の茅沼炭鉱で栄え、現在、北海道初の原子力発電所を有し、北海道の電気の約4割を供給するなど、北海道経済を支えるエネルギー基地でもあり、「エネルギーのふるさと」をキャッチフレーズに村づくりが進められています。更に現在は、定住促進施設や光ファイバーを活用した情報化事業の推進を図り、泊村に『住みたくなるような』環境を整えるため、その基盤づくりを村民と共に着々と進めております。

### 【泊村通信ネットワーク「とまりねっと」】

IT化時代を迎え、泊村では全国初のシステムを導入した村内全戸と公共施設を光ファイバー網で結ぶ情報ネットワーク「とまりねっと」が整備されています。このシステムは、下水道事業に合わせて整備したもので、村民と役場や診療所、福祉センター、学校などの公共施設を通信ネットワークで結び、家庭に居ながらにして村からのお知らせ



泊村通信ネットワーク「とまりねっと」

せや各施設の最新情報を得ることができます。

### 【群来まつり】～今年は7月21日(土)開催～

毎年7月第3土曜日に、弁天島を眺める盃海水浴場(盃温泉郷前)で行われている泊村最大のイベント。新鮮な海の幸の味覚コーナーでのウニ丼や、特産品の販売、みんなが参加できるイベント、さらには、歌謡ショーなどが催され、フィナーレは夏の夜空に打ち上げられる花火で終わりを告げます。



群来まつり

### 【とまりカブトラインパーク】

日本海、泊村の景勝カブト岬、そしてカブトラインが一望できる公園。公園の中には、自然を生き、起伏に富み、日本海を望みながらプレーができるナイター施設を備えた18ホールのパークゴルフ場をはじめ、テニスコート、多目的広場やバーベキューハウスなどがあり、高齢者から家族連れまで、連日たくさんの方が訪れています。

7月中旬から8月下旬にかけて開放されるナイターでのパークゴルフは、眼下に広がる日本海の漁火を見ながらプレーすることができます。



とまりカブトラインパーク

### 【泊村アイスセンター「とまりリンク」】



泊村アイスセンター「とまりリンク」 大学、高校や企業などのアイスホッケーチームの合宿所として大いに利用されています。施設内には、シャワー室、

平成10年にオープン、後志管内唯一の屋内アイスリンクをもち、1年を通してスケートが楽しめる「とまりリンク」は、国際アイスホッケー連盟の基準に沿って設計されていることから、道内外の

大学、高校や企業

ミーティングルーム、フォーム調整室、体育館も整備されているほか、2階には、トレーニングルームもあり、村民をはじめ多くの人たちが訪れ、健康づくりのために爽やかな汗を流しています。

### 【鯨御殿とまり】

かつてニシン漁で栄えた泊村。その往時の繁栄と歴史を伝える施設。並ぶ建物は、明治27(1894)年に建設された「旧川村家番屋」と大正5(1916)年頃に建てられた「旧武井邸客殿」、そして付属するレンガ造りの蔵で、二つの建物は渡り廊下でつながっており、当時の様子を伝える貴重な資料が展示されています。泊村有形文化財指定となっています。



鯨御殿とまり

## あまづけウニ（夏期～冬期）

泊村の荒磯で育った「ウニ」の香りと甘さをそのまま味わって頂くために、食品添加物を一切使



わず小塩で一夜漬けにしたもので、ほどよい塩加減とウニの甘さが絶妙に溶け合った高級珍味です。エゾバフンウニの赤とキタムラサキウニの白の2種類があり、村を代表する特産品の一つになっています。

お問合せ先：古宇郡漁業協同組合 (0135)75-3111  
古宇郡漁業協同組合 盃支所  
(0135)75-2211

お問い合わせ：役場企画振興課  
0135-75-2021 (代表)

ホームページのアドレス

<http://www.vill.tomari.hokkaido.jp>



## 日本一が3つあるまち～ほろかない～

幌加内町長 守田 秀生



### 【幌加内町の概要】

幌加内町は上川北部に位置し、全長63kmと南北に長く、隣接する11市町村とはすべて山岳を隔てた盆地型の地勢です。昼夜及び夏冬の寒暖差が大きく、特に冬は寒冷多雪の典型的な内陸型気候です。

基幹産業は農業で、特にそばは2,700haの作付面積を誇り、花が咲く8月上旬には町内一面が「白いじゅうたん」と化します。

町の北部に位置する朱鞠内湖の湖畔にはキャンプ場やログキャビンが整備され、幻の魚イトウをはじめとする約15種の魚が生息し、1年を通して釣り人が訪れます。

### 【作付面積日本一のそば】

冷涼な気候、昼夜の寒暖差、夜の冷え込みと日中の温度差を和らげる朝霧の発生等の自然条件は、上質な幌加内そばを生み出します。昭和45年、米の生産調整政策が長期化する中で始まったそば栽培ですが、現在では作付面積2,700ha、生

産量2,390トン以上と日本一のそばの産地となっています。



幌加内町そば祭り（9月上旬）  
幌加内そばはもちろん全国各地の蕎麦の味を堪能できます。

### 【厳寒清流さらし蕎麦】

町内の若手そば店経営者の会「幌加内蕎麦店経営研究会」は江戸の時代、徳川家に蕎麦を献上するために考案された保存法「寒ざらし」の再現に取り組んでいます。玄そばには幌加内町で独自開発された蕎麦「ほろみのり」を使用、清流にさらすことにより、より一層甘みや風味が際立っています。6月頃に期間限定で味わうことができます。



### 【日本最大の人造湖 朱鞠内湖】

16年の歳月をかけて昭和18年に完成した雨竜第一ダムによって堰き止められたダム湖・朱鞠内湖は周囲40km、堰水面積は2,373haと人造湖として



は日本一の広さ。

湖には大小13の小島が浮かび変化に富んだ美しい景観が広がります。

### 【日本最寒記録 マイナス41.2度】

昭和53年2月17日、幌加内町の最北部、母子里（もしり）でマイナス41.2度を記録しました。この記録は気象庁の公式記録の対象外であったため、明治35年に旭川市で記録したマイナス40度が日本最低気温として登録されていますが、幌加内町母子里のマイナス41.2度は日本一の最低気温として知られているところです。



日本最寒気温となる-41.2℃を記録した記念に作られたクリスタルパーク内のクリスタルピークス。凍てつく寒さを表現しています。



朱鞠内湖湖水祭（8月上旬）  
湖上で繰り広げられる花火は迫力満点!!

# 厚生委員会行事報告



第1回大会 スタート前

## 第1回ゴルフ会 平成24年5月24日(木) 札幌国際CC 参加者31名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	木村 賢史	道タツヲ電気	52	52	104	36	68
準優勝	川口 誠	エミヤ	43	46	89	18	71
3位	桜庭 謙次	北電力設備	43	43	86	13	73
4位	佐久間忠信	北明電気	41	38	79	5	74
5位	荒川 正一	札幌日信	43	49	92	18	74
6位	柳 富美夫	能美防災	48	46	94	20	74
7位	桜間 仁敏	北海道古川	43	39	82	7	75
8位	近藤 国男	東和電商	43	45	88	13	75
9位	中上 一民	サンテック	46	43	89	13	76
10位	住本 邦裕	道タツヲ電気	40	40	80	3	77

### (特別賞)

B	G	佐久間忠信	(北明電気)
平	賞	野中 邦雄	(北工電気)
大	賞	坂口 興次	(ドウデン)
小	賞	笠島 龍広	(北海電気)
B	B	滝澤 英美	(サンテック)
ラ	賞	庄田 修身	(データ電建)
ッ	P	桜庭 謙次	(北電力設備)
キ	P	住本 邦裕	(道タツヲ)
ー	P	中川 渉	(道ジーエス・ユアサ)
	P	枝並 秀喜	(電業協会)



第1回大会優勝者 木村さん(左)

## 第2回ゴルフ会 平成24年6月12日(火) 札幌南CC 参加者28名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	平野 清治	札幌日信	44	42	86	11	75
準優勝	須貝 勝壽	亜細亜電気	46	46	92	16	76
3位	三井 尚	北明電気	48	47	95	19	76
4位	三原 剛	道ジーエス・ユアサ	48	56	104	28	76
5位	深田 哲	トーエネック	49	40	89	11	78
6位	桜庭 謙次	北電力設備	45	46	91	13	78
7位	桜間 仁敏	北海道古川	43	42	85	7	78
8位	小野寺涼一	大成電気	45	41	86	8	78
9位	山口 邦治	山口電気	53	50	103	24	79
10位	暁 友祐	北札幌電設	45	48	93	13	80

### (特別賞)

B	G	桜間 仁敏	(北海道古川)
B	G	住本 邦裕	(道タツヲ)
平	賞	加藤 定義	(北盛電設)
大	賞	深田 哲	(トーエネック)
小	賞	三井 尚	(北明電気)
B	B	久慈幸次朗	(東光電気)
ラ	賞	萩本 哲夫	(三共電気)
ッ	P	平野 政治	(札幌日信)
キ	P	三原 剛	(道ジーエス・ユアサ)
	P	桜間 仁敏	(北海道古川) × 2
	P	中村 淳一	(北海電気) × 2
	P	住本 邦裕	(道タツヲ)



第2回大会優勝者 平野さん(右)

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

(株)ドウデン

代表取締役社長 小笠原 憲 生

私は札幌生まれですが、就職して本州にて勤務するまで、頻繁に蕎麦を食べることはありませんでした。当時の国鉄に入社し、実配属になった“信州”の半年間で、それ以前の人生で食べた蕎麦の??倍の量を食べ、すっかりその味に魅せられてしまいました。

さて、今回ご紹介させていただくお店は、「春のすけ」、通称『ファイターズ通り』の一角にあります。

こごんまりとした雰囲気のお店で、昼夜ともに引きつける魅力のあるお店です。

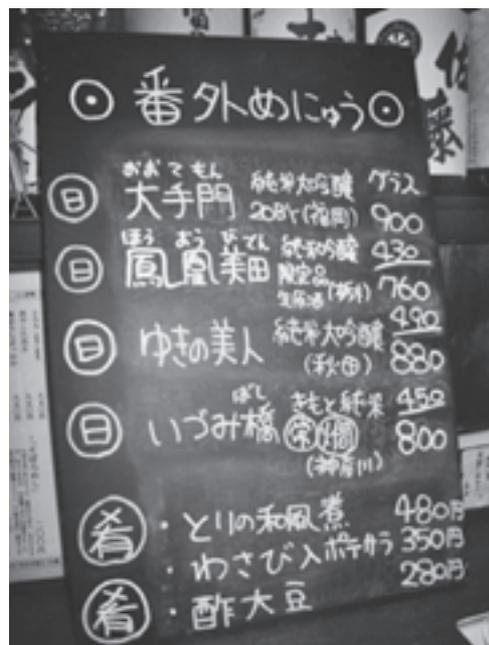


特に夜は「ジャズ」が店内に流れ、『蕎麦屋さん』とはかけ離れた印象を持ちますが、意外にありますね！またチーズをあしらったつまみと店主のこだわりのお酒に、焼酎に酔いしれます。

やはり締めは『蕎麦』、十割の「太打ち」、「細打ち」のどちらかを選び、さらに舌鼓を打ちます。

アットホームの雰囲気に包まれ、心意気合う仲間と杯を傾ければ、一層その美味しさを増すことでしょう！

◎番外めにゅー◎にも心奪われるお酒、「つまみ」があります。



### ○『春のすけ』

手打ち十割蕎麦とにほん酒のお店

住 所 札幌市東区北7条東3丁目15の72

電 話 011-742-1290

営業時間 平 日 11時～14時30分

17時30分～22時

日・祝 11時～14時30分

定休日 月曜日 (祝日の場合もお休み)

[http://blog.livedoor.jp/sobakiri\\_harunosuke/](http://blog.livedoor.jp/sobakiri_harunosuke/)

今回の「私のいちおし」は

北電力設備工事株式会社

代表取締役社長

伏木 淳さん



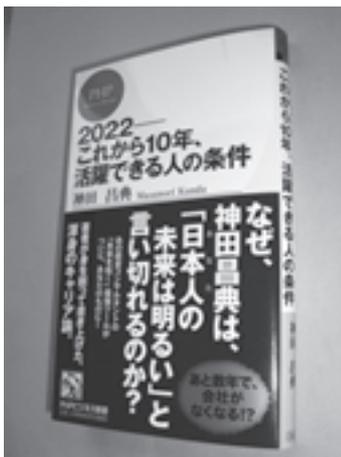
# ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

## 「2022—これから10年、 活躍できる人の条件」



なぜ、神田昌典は、  
「<sup>あなた</sup>日本人の未来は明るい」と言い切れるのか？

著者：神田 昌典  
出版社：PHP研究所  
定価：882円

2003年10月、「なぜだ?!売れない文庫本フェア」が奇跡的に大ヒットして、当店は閉店の危機から逃れることができた。

全国ほとんどすべての書店が売れる本を追い求めている中、売れない文庫を集め実施したこのフェア、マスコミ各社が大きく取り上げてくれ大成功となった。やけくそだったんでしょ、とも言われたが、そうではなくてこのフェアの発想を得たのは神田昌典氏の「あなたの会社が90日で儲かる！」という本からだった。

この本には“今、時代が大きく変わり今までの常識はもう通用しない。これからは今まで非常識と言われた中にこそ成功のヒントがある”という発想で『人を集める』ための様々な手法が紹介されていた。

余談だが、この本を知ったのは、ある情報誌で紹介されていたのだが、こう紹介されていた。“この本で救われる人がきっといるに違いない”と。

という訳で、今や、「日本一のマーケッター」と言われる神田さんの本には常々、注目していた。

さて、この本。今年2月に出版され、その大胆な予測から注目を浴び、一躍ベストセラーになっている。

ともかくすごいのだ。たとえば「2012年には効率、情報の時代が終わり、共感、つながりの時代へシフト」。「2013年に中国、アメリカが激震」「2015年までに国の体制が変わるほどの大変革が起こり、価値観がひっくり返る」「2016年に国家財政破綻」等々、予測は次々に続いていくのだが、彼は断言する。これからの10年で世界は生まれ変わると。なぜかは本を読んでいただきたいが、だから、我々も発想を変えていかなければいけないと彼は言う。

なにか怪しい予言書のようにも感じるかもしれないが、彼は日本一と言われるマーケティングのプロなのだ。だからこそその説得力だ。是非読んで欲しい一冊です。

# お 知 ら せ

## ○平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会

### 【申込受付期間】

平成24年8月1日(水)から8月31日(金)まで

### 【開催日】

平成24年10月27日(土)～10月28日(日) 2日間

### 【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目)

### 【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ①第一種電気工事士の免状取得後、電気工事の直接施工業務に従事して、5年以上の実務経験を有する者。
- ②電気工事の直接施工業務に従事して該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があり、労働安全衛生法第60条による職長教育を終了して、受講前日までに3年以上の職長経験を有している者。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する

- ①実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実と相違がない旨の誓約書(署名、捺印)が必要。
- ②第1種電気工事士免状の写し、また職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育終了証の写しを添付する。

### 【受講料】

18,000円(受講料には、受講費、教材費、認定関係費が含まれます)

8,000円 平成23年度の認定講習会・試験で不合格通知を受け、試験のみ受験する者。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により(一社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(一社)日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

### 【電気工事基幹技能者の認定・特典】

認定講習を受講し、終了査定(試験)に合格した者は、「登録電気工事基幹技能者」として認定され、(一社)日本電設工業協会会長から「登録電気工事基幹技能者証」が交付される。また、建設業法第27条の23第3項経営事項審査の項目及び基準を定める件(国土交通省告示第85号機関技能者関係)により登録基幹技能者は技術職員の加点として3点が、平成21年度より認められることになった。

# 顧問会

平成24年5月7日(月)午後5時から、ほくでん北二条クラブにおいて、今年度の顧問会を開催した。当日は野尻顧問、当協会からは、吉川会長、中野、山口、樋口副会長、小川専務理事等が出席した。

最初に吉川会長から挨拶があり、常日頃から当協会運営に対してご理解・ご支援に謝辞を述べられた後、当協会の現状について説明した。

引続き、事務局から5月10日開催予定の通常総会の議案書に基づき、23年度事業報告、新役員(案)などについて報告。

野尻両顧問からは、今後の協会運営に対して貴重なご意見やご提言をいただき、今後の活動の一助とすることにしました。このあと、懇談会に入り、いつもながらの時事放談や健康談義に花が咲き、和やかなうちにお開きとなった。



## 業界だより

### ○会員代表者の変更

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| ・東光電気工事(株)北海道支社<br>(新)支社長<br>(旧) ♪ | 4月1日付<br>坪田 雅幸<br>清水 秀二 |
| ・(株)クリハラント北海道支社<br>(新)支社長<br>(旧) ♪ | 4月1日付<br>酒井 光三<br>瓜生 道夫 |

- |                                          |                          |
|------------------------------------------|--------------------------|
| ・日本電設工業(株)北海道支店<br>(新)支店長<br>(旧) ♪       | 6月22日付<br>野本 徳明<br>金子 康郎 |
| ・(株)北海道ジーエス・ユアササービス<br>(新)代表取締役<br>(旧) ♪ | 6月26日付<br>三原 剛<br>中川 渉   |

# 理 事 会

◇平成24年4月24日(火) 12:00~13:30

## 第1回議題

### 【協議事項】

1. 協会役員の選任対応について
2. 電業協会第46回通常総会付議事項について
3. 電設協道支部第56回通常総会付議事項について
4. 協会・道支部の通常総会に向けたスケジュールについて
5. 通常総会、懇親会の運営・進行について

### 【報告事項】

1. 顧問会議の開催について
2. 代表者、職務執行者の変更について
3. 平成24年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催結果について
4. 北海道電気資材卸業協同組合総会・懇親の案内について
5. 日本電気協会北海道支部大会・懇親会の案内について
6. 平成24年4月~6月行事予定について
7. その他意見交換

4. 平成24年度安全大会の開催概要について
5. 平成24年度北海道の建築工事に係る合同研修会について
6. 建設産業専門団体連合会と北海道開発局との意見交換会について
7. 平成24年度赤レンガ建築賞実行委員会の開催について
8. 平成24年度札幌市電気設備施工研修会の開催について
9. 技術系学校教諭・学生等との現場見学会開催について
10. 平成24年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の後援依頼
11. 本部・支部事務連絡会議の開催について
12. 平成24年度会員大会決議項目の提出について
13. 会員代表者、法人職務執行者の変更について
14. 平成24年6月~7月行事予定について
15. その他意見交換

◇平成24年6月26日(火) 12:00~13:30

## 第2回議題

### 【協議事項】

1. 役員、常設委員会等の選任対応(案)について
2. 平成24年常設委員会委員等の変更について
3. 役員会等今後の日程について

### 【報告事項】

1. 本部運営委員会開催概要について
2. 本部政策委員会開催概要について
3. 北海道の営繕工事における総合評価方式説明会概要について

## || 三 役 会

◇平成24年4月16日(月) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 協会役員の選任対応
2. 協会・道支部の通常総会に向けたスケジュール
3. 通常総会及び懇親会の会員、ご来賓へのご案内
4. 顧問会議の開催
5. 第46回・第56回通常総会の進行
6. 第46回・第56回通常総会の議案集
7. 平成24年度技術安全衛生基礎教育講習会の開催結果について
8. 代表者、法人職務執行者の変更
9. 平成24年4月~5月行事予定
10. その他意見交換
  - ・北海道建設審議会委員の就任依頼について
  - ・(社)日本電気協会通常総会のご案内

◇平成24年5月7日(月) 15:30~16:40

ほくでん北二条クラブ 会議室

### 第2回議題

1. 46回・56回通常総会の運営(進行要領等)
2. 通常総会・懇親会の運営
3. ホテルニューオータニイン札幌との打ち合わせ等
4. 関係団体の通常総会等のご案内
  - ・札幌協通常総代会・懇親会
  - ・建災防北海道支部平成24年第1回役員会・懇親会
  - ・建専連北海道地区連合総会・懇親会
5. 平成24年5月~6月行事予定
6. その他意見交換

◇平成24年6月5日(火) 12:00~13:30

### 第3回議題

1. 平成24年度役員会等の行事日程
2. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催
3. 平成24年度安全大会の開催

4. 平成24年度赤レンガ建築賞実行委員会の開催
5. 関係団体の通常総会等のご案内
  - ・札幌市業界団体連絡協議会理事会・総会及び懇親会
  - ・建専連通常総会及び懇親会
  - ・道電気工組通常総代会懇親会
  - ・北海道建築士事務所協会創立60周年記念式典
6. 技術系学校先生等との現場見学・懇談会スケジュール(案)
7. 平成24年6月~7月行事予定
8. その他意見交換

## || 総務委員会

◇平成24年6月14日(木) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 平成24年度総務委員会委員
2. 平成24年度総務委員会事業実施計画(案)
3. 常設委員会・部会の構成
4. 北海道防衛局への対応
5. 平成24年度北海道の建築工事に係わる合同研修会
6. 本部理事会開催概要
7. 平成24年度技術安全衛生基礎教育講習会開催概要
8. 平成24年度安全大会、札幌市電気設備施工研修会
9. 本部・支部事務連絡会議の開催
10. 道建専連と開発局との意見交換会
11. 平成24年度会員大会決議項目の提出
12. 役員会等今後の日程
13. 会員代表者、法人職務執行者の変更
14. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成24年6月11日(月) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 平成24年度経営委員会委員名簿
2. 第5回議事録(案)の承認
3. 平成24年度経営委員会事業計画(案)
4. 電設協第243回政策委員会開催概要
5. 公契約条例に係るモデル事業
6. 平成24年度安全大会
7. 北海道建設部建築局の営繕工事における総合評価方式の概要に係る説明会
8. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成24年6月21日(木) 15:00~17:00

### 第1回議題

1. 平成24年度広報委員会委員
2. 平成24年度事業実施計画
3. 会報「秋号」編集方針
4. 会報「夏号」校正
5. 新春特集
6. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成24年6月7日(木) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 平成24年度技術安全委員会委員
2. 平成24年度事業計画(案)
3. 実施報告
  - ・平成23年度技術・安全基礎教育講習会
  - ・平成23年度1級学科電気工事施工管理技術検定試験「受験準備講習会」
  - ・技術講習会 オホーツク圏電業協会との開催
4. 平成24年度安全大会の開催
5. 札幌市電気設備施工研修会の開催

6. 平成24年度登録電気工事基幹技能者特例講習会
7. 平成24年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
8. 電気工事現場見学会の開催日程・見学先
  - ・技術系学校教諭との見学会、懇談会
  - ・技術系学校学生との見学会
  - ・協会の現場見学会
9. 技術講習会テーマ選定
10. 工事現場安全パトロールの開催、日程
11. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成24年6月20日(水) 12:00~13:30

### 第1回議題

1. 平成24年度厚生委員会委員
2. 平成24年度部会実施計画
3. 平成24年度予算
4. その他意見交換

## 事務局日誌

4月10日(火)～13日(金)

・技術安全基礎教育講習会

16日(月)・第1回三役会議

20日(金)・総会監事監査

24日(火)・第1回理事会・常議員会

24日(火)～25日(水)

・平成24年度1級学科電気工事施行管理技術検定試験受験準備講習会

(セントラル札幌北ビル)

5月7日(月)・第2回三役会議

・顧問会議

(ほくでん北二条クラブ)

8日(火)・本部支部長会議

吉川支部長

10日(木)・第46回北海道電業協会通常総会

・第56回電設協北海道支部通常総会

・同上合同懇親会

(ホテルニューオータニイン札幌)

11日(金)・「施工パッケージ型積算方式」説明会

(北海道建設会館)

16日(水)・日本電設工業協会第62回定時常総会

吉川会長ほか

17日(木)・技術講習会

(北見市 オホーツク圏電業協会)

・北海道電気資材卸組合総会

(札幌ガーデンパレスホテル)

22日(火)・札幌電気工事工業組合総会・懇親会

(東京ドームホテル) 山口副会長

・建災防道支部23年度第1役員会

(北海道建設会館) 小川専務

23日(水)・日本電気協会北海道支部総会

枝並事務局長

24日(木)・第1回ゴルフコンペ

(札幌国際CC)

25日(金)・再生可能エネルギーの固定価格買取制度説明会

小川専務理事 (アスティー45)

28日(月)・電気用品安全法改正施工(LEDランプ等)説明会

(第一合同庁舎) 小川専務

30日(水)・北海道電気安全委員会総会

(電気会館) 小川専務

6月4日(月)・道赤レンガ建築賞実行委員会

(道庁会議室) 小川専務

5日(火)・第3回三役会議

6日(水)・建労災札幌分会役員会、通常総会

(全日空ホテル) 小川専務

7日(木)・第1回技術安全委員会

8日(金)・本部常任理事会

吉川支部長

11日(月)・第1回経営委員会

12日(火)・第2回ゴルフコンペ

(札幌南ゴルフクラブ)

13日(水)・建専連総会・懇親会

(第一ホテル) 小川専務理事他

14日(木)・第1回総務委員会

19日(火)・平成24年度安全大会

(電気会館)

20日(水)・第1回厚生委員会

21日(木)・第1回広報委員会

26日(火)・第2回理事会・常議員会

28日(木)・道建築士事務所協会60周年記念講演会・式典・懇親会

小川専務

## 編集後記

深緑の輝く初夏のさわやかな季節となりました。

この度は、会報「夏号」の発刊にあたり、札幌市都市局建築部設備担当部長の芝富士夫様に巻頭言にご寄稿いただき、心より御礼申し上げます。

札幌市の重点的な取り組みとして、一つには市有施設の防災機能強化を目的に、災害時の緊急避難場所となる施設の耐震化や、体育館等の高断熱化等を推進されていること。また、もう一つには環境負荷低減への取り組みとして、再生可能エネルギーの導入及び設備の省エネルギー化等について、市有施設への設置の他、住宅等民間施設への推進についても制度を整備されているとのこと。私ども電気設備に関わる業界といたしましても、「防災」、「新エネ」、「省エネ」に関わる分野には昨今は特に力を入れつつあるところと思いますが、札幌市の取り組みの意図を十分に理解の上、より連携を取って業務を進めて行ければ幸いと感じております。

加えて、現在は全国的に原子力発電所の稼働が停止している状況により、電力の需給バランスの問題から、「節電対策」が強く求められているところであります。こうした中、私どもの業界が「節電対策」に対して、どういった取り組みで、どう貢献して行けるかが肝要なところであります。また、今後も電力会社はもとより、国や道、市町村の行政サイドからも経済界側に様々な節電対策や協力要請が出されて参りますが、官民が一層連携を取ってこの問題を乗り切っていければと感じるところです。

広報副委員長 伏木 淳



発行 平成24年7月  
社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp